
4 5 1 6. 保税運送申告（一括）

業務コード	業務名
GOL	保税運送申告（一括）呼出し
GOL01	保税運送申告（一括）

1. 業務概要

到着空港から一括して到着便単位に保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録を行う。

また、仮陸揚貨物に対する保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録も可能である。

申告内容に基づき、保税運送申告の場合は、「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」へ選定される。

「簡易審査扱い」に選定された申告は、即時に承認となる。

「書類審査扱い」に選定された申告は、税関が行う「保税運送申告審査終了（CET）」業務により承認の旨が入力された場合に承認となる。

包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合は、登録された情報に基づき、選定を行う。

(1) 「保税運送申告（一括）呼出し（GOL）」業務の場合

到着便名、運送種別及び運送先（保税蔵置場）を入力することにより、他空港向一括保税運送貨物または他空港向一括保税運送仮陸揚貨物として登録されているAWB情報を呼び出す。

(2) 「保税運送申告（一括）（GOL01）」業務の場合

到着空港から他空港向一括保税運送貨物または仮陸揚貨物の保税運送申告を行う。

なお、包括保税運送承認番号を入力することにより、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録となる。

また、特定保税運送の旨を入力することにより、特定保税運送者による特定保税運送に係る運送の情報の登録となる。

本業務が税関の開庁時間外にわたる場合には、時間外執務要請届がされている必要がある。

ただし、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合は除く。

2. 入力者

航空会社

3. 制限事項

(1) GOL業務の場合

1 到着便で登録可能な他空港向一括保税運送の運送先は最大13件とする。

(2) GOL01業務の場合

① 1業務で入力可能なAWB件数は最大18件とする。

② 1到着便で登録可能な他空港向一括保税運送の運送先は最大13件とする。

4. 入力条件

(1) GOL業務の場合

(A) 入力者チェック

① システムに登録されている利用者であること。

② 入力された到着便名に対して「AWB情報登録（輸入）（ACH）」業務または「AWB情報訂正（CAW）」業務（以下、AWB情報登録業務という。）を行った利用者と同一であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 輸入便情報DBチェック

- ①入力された到着便名に対する輸入便情報が輸入便情報DBに存在すること。
- ②後述のAWB情報抽出処理において、抽出対象となるAWB情報が1件以上存在すること。

(2) GOL01業務の場合

(A) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②運送種別が他空港向一括保税運送または仮陸揚貨物運送（一括）の場合は、入力された到着便名に対してAWB情報登録業務を行った利用者と同一であること。
- ③運送種別が仮陸揚貨物運送（個別）の場合は、仮陸揚貨物が蔵置されている航空会社であること。
- ④特定保税運送の登録の場合は、特定保税運送者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 輸入便情報DBチェック

(a) 入力された運送種別が他空港向一括保税運送の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された到着便名に対する輸入便情報が輸入便情報DBに存在すること。
- ②入力されたAWB番号が他空港向一括保税運送貨物として登録されていること。
- ③入力されたAWB番号について既に本業務が行われていないこと。

(b) 入力された運送種別が仮陸揚貨物運送（一括）の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された到着便名に対する輸入便情報が輸入便情報DBに存在すること。
- ②入力されたAWB番号が他空港向一括保税運送仮陸揚貨物として登録されていること。
- ③入力されたAWB番号について既に本業務が行われていないこと。

(D) 輸入貨物情報DBチェック

入力された運送種別が他空港向一括保税運送の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。
- ②突合済であり、かつ入力者の管理する保税蔵置場（航空会社保税蔵置場のない空港地区においては貨物引渡し元の共同蔵置場）に蔵置されていること。ただし、ULD収容貨物を除く。
- ③包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合で、搬出元の保税蔵置場に蔵置されている貨物に対して、税関届出を要する事故情報がある場合は、「許可・承認等情報登録（輸入保税）（PCH）」業務により事故確認が行われていること。
- ④入力された運送先がシステム内の保税蔵置場の場合は、システム内他空港向一括保税運送貨物であること。また、入力された運送先がシステム外の保税蔵置場の場合は、システム外他空港向一括保税運送貨物であること。
- ⑤入力された到着便名に対して保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録が行われていないこと。
- ⑥「貨物取扱登録（改装・仕分）（CHS）」業務により仕分けられた仕分け親となっていないこと。ただし、スプリット情報仕分けの仕分け親は除く。
- ⑦CHS業務により仕分けられたスプリット情報仕分けの仕分け親となっている場合は、運送先がシステム内の保税蔵置場であること。
- ⑧「輸出貨物取扱登録（仕分け）（AHS）」業務により仕分けられた仕分け親でないこと。
- ⑨「輸出貨物取扱登録（仕合せ）（AHT）」業務により仕合せされた仕合わせ親でないこと。
- ⑩輸入申告等の通関手続き（予備申告（Z申告、T申告、J申告、U申告またはS申告）は除く）が行われていないこと。

- ⑪貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。
- ⑫訂正保留中でないこと。
- ⑬「許可・承認等情報登録（輸入保税）（PCH）」業務により以下の登録がされていないこと。
 - 「廃棄届受理」
 - 「減却承認」
 - 「亡失届受理」
 - 「保税運送承認」
 - 「税関内収容」
 - 「現場収容」
 - 「貨物の移動差止」（包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合のみ）
 - 「貨物手作業移行」
 - 「登録情報削除承認」
- ⑭「許可・承認等情報登録（輸入通関）（PAI）」業務により許可・承認登録がされていないこと。
- ⑮「許可・承認等情報登録（監視）（PAK）」業務により以下の登録がされていないこと。
 - 「外貨機用品積込承認（個別）」
 - 「外貨船用品積込承認」
 - 「別送品輸入許可」

(E) 輸出貨物情報DBチェック

入力された運送種別が仮陸揚貨物運送（一括）または仮陸揚貨物運送（個別）の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報が輸出貨物情報DBに存在すること。
- ②システムを介して航空会社保税蔵置場（航空会社保税蔵置場のない空港地区においては貨物引渡し元の共同蔵置場）に取り卸された仮陸揚貨物として登録されていること。
- ③HAWBでないこと。
- ④MAWBでないこと。ただし、出仮貨物で国内空港を経由した貨物は除く。
- ⑤入力者の管理する保税蔵置場（航空会社保税蔵置場のない空港地区においては貨物引渡し元の共同蔵置場）に蔵置されていること。
- ⑥全量便割当て済でないこと。
- ⑦税関届出を要する事故情報がある場合は、税関による事故確認登録がされていること。
- ⑧貨物差止め登録がされていないこと。
- ⑨手作業移行済の貨物でないこと。
- ⑩訂正承認保留中の貨物でないこと。
- ⑪ULDに積み付けされている貨物でないこと。
- ⑫貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。

(F) 包括保税運送DBチェック

包括保税運送承認番号が入力された場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された包括保税運送承認番号に対する包括保税運送情報が包括保税運送DBに存在すること。
- ②本業務の入力者と包括保税運送情報に登録されている包括保税運送承認を受けた者が同一であること。
- ③入力された包括保税運送承認番号が停止となっていないこと。
- ④本業務の入力日が包括保税運送承認期間を過ぎていないこと。
- ⑤包括保税運送情報に登録されている発送場所及び運送先と入力された発送場所及び運送先が同一であること。

(G) 時間外執務要請届情報関連チェック

保税運送申告を行う場合で本業務が税関の開庁時間外にわたる場合には、以下のチェックを行う。

- ①当該申告分の時間外執務要請届情報が時間外執務要請届DBに存在すること。
- ②本業務が行われた時刻が時間外執務要請届の届出時間帯であること。

5. 処理内容

(1) GOL業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) AWB情報抽出処理

輸入便情報DBより後述の条件に該当するAWB情報を抽出する。

なお、1回で抽出するAWB情報は最大18件とし、18件を超える場合で、かつ便終了済である場合は、呼び出されたAWB情報について保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録を行い、正常処理された場合に次の18件を抽出する。

(a) 他空港向一括保税運送の場合

- ①他空港向一括保税運送貨物の旨が登録されている。
- ②突合済である。ただし、ULD收容貨物を除く。
- ③保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録が行われていない。
- ④登録されている仕向地と入力された運送先に設定されている空港コードが同一である。

(b) 仮陸揚貨物運送(一括)の場合

- ①他空港向一括保税運送仮陸揚貨物の旨が登録されている。
- ②突合済である。ただし、ULD收容貨物を除く。
- ③保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録が行われていない。
- ④ULDでない。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(D) 注意喚起メッセージ出力処理

以下の場合、注意喚起メッセージとして出力する。

- ①登録を行うには再送信が必要である。
- ②抽出対象となるAWB情報が18件を超える。
- ③便終了済でない。
- ④AWB情報抽出処理時に不突合、未突合の貨物が存在する。

(2) GOL01業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 申告税関決定処理

(a) 申告先税関官署の入力がない場合

入力された発送場所を管轄する税関官署を申告税関とする。ただし、包括保税運送承認に係る個別運送情報の場合は、包括保税運送情報に登録されている税関官署を申告税関官署とする。

(b) 申告先税関官署に入力がある場合

入力された申告先税関官署を申告税関官署とする。

(C) 保税運送申告番号、個別運送管理番号または特定保税運送番号払出し処理

保税運送申告番号、個別運送管理番号または特定保税運送番号をシステムより払い出す。

(D) LDR番号払出し処理

入力された運送種別が仮陸揚貨物運送（一括）または仮陸揚貨物運送（個別）の場合は、LDR番号をシステムより払い出す。

(E) 運送期間設定処理

(a) 保税運送申告の場合

保税運送期間日数DBにより、運送期間を設定する。

(b) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合

包括保税運送DBに登録されている運送日数から、システム年月日の翌日を起算日として運送期間を設定する。

(c) 特定保税運送の登録の場合

システム年月日の翌日を起算日として7日間の運送期間を設定する。

(F) 審査区分選定処理

保税運送申告の場合は、申告内容に基づき、「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」に選定する。包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録を行った場合は、登録された情報に基づき、選定を行う。

(G) 輸入便情報DB処理

入力された運送種別が他空港向一括保税運送または仮陸揚貨物運送（一括）の場合は、入力された到着便名及びAWB番号に対して本業務を実施した旨を登録する。

(H) 輸入貨物情報DB処理

入力された運送種別が他空港向一括保税運送の場合は、以下の処理を行う。

(a) 保税運送申告の場合

- ①保税運送申告が行われた旨を登録する。
- ②保税運送申告情報を登録する。
- ③搬出確認情報を登録する。
- ④審査区分等選定処理により「簡易審査扱い」に選定された場合は、承認情報も併せて登録する。

(b) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合

- ①包括保税運送承認に係る個別運送の登録が行われた旨を登録する。
- ②包括保税運送承認に係る個別運送情報を登録する。
- ③搬出確認情報を登録する。

(c) 特定保税運送の登録の場合

- ①特定保税運送の登録が行われた旨を登録する。
- ②特定保税運送情報を登録する。
- ③搬出確認情報を登録する。

(I) 輸出貨物情報DB処理

入力された運送種別が仮陸揚貨物運送（一括）または仮陸揚貨物運送（個別）の場合は、以下の処理を行う。

- (a) 保税運送申告の場合
 - ①保税運送申告が行われた旨を登録する。
 - ②保税運送申告情報を登録する。
 - ③搬出確認情報を登録する。
 - ④審査区分等選定処理により「簡易審査扱い」に選定された場合は、承認情報も併せて登録する。
- (b) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合
 - ①包括保税運送承認に係る個別運送の登録が行われた旨を登録する。
 - ②包括保税運送承認に係る個別運送情報を登録する。
 - ③搬出確認情報を登録する。
- (c) 特定保税運送の登録の場合
 - ①特定保税運送の登録が行われた旨を登録する。
 - ②特定保税運送情報を登録する。
 - ③搬出確認情報を登録する。
- (J) 保税運送申告DB処理
 - (a) 保税運送申告の場合

システムで払い出した保税運送申告番号に対する保税運送申告情報を作成し、入力情報を登録する。

なお、審査区分選定処理により「簡易審査扱い」に選定された場合は、承認情報も併せて登録する。
 - (b) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合
 - ①システムで払い出した個別運送管理番号に対する保税運送申告情報を作成し、入力情報を登録する。
 - ②運送先がシステム外の保税蔵置場の場合は削除表示を設定する。
 - (c) 特定保税運送の登録の場合

システムで払い出した特定保税運送番号に対する保税運送申告情報を作成し、入力情報を登録する。
- (K) LDR情報DB処理

入力された運送種別が仮陸揚貨物運送（一括）または仮陸揚貨物運送（個別）の場合は、システムで払い出したLDR番号に対するLDR情報を作成し、入力情報を登録する。

なお、審査区分選定処理により「簡易審査扱い」に選定された場合、包括保税運送承認に係る個別運送の場合または特定保税運送の場合は、承認情報も併せて登録する。
- (L) AWB情報抽出処理

呼出し業務から継続して行われた場合は、輸入便情報DBより後述の条件に該当するAWB情報を抽出する。

なお、1回で抽出するAWB情報は最大18件とし、18件を超える場合で、かつ便終了済である場合は、呼び出されたAWB情報について保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録を行い、正常処理された場合に次の18件を抽出する。

 - (a) 他空港向一括保税運送の場合
 - ①他空港向一括保税運送貨物の旨が登録されている。
 - ②突合済である。ただし、ULD収容貨物を除く。
 - ③保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録が行われていない。
 - ④登録されている仕向地と入力された運送先に設定されている空港コードが同一である。
 - (b) 仮陸揚貨物運送（一括）の場合
 - ①他空港向一括保税運送仮陸揚貨物の旨が登録されている。

②突合済である。ただし、ULD收容貨物を除く。

③保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録が行われていない。

④ULDでない。

(M) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(N) 注意喚起メッセージ出力処理

以下の場合、注意喚起メッセージとして出力する。

①すべてのAWB情報が抽出され、かつ登録を行うには再送信が必要である。

②抽出対象となるAWB情報が18件を超える。

③入力された到着便名において、他空港向一括保税運送貨物に対する本業務がすべて終了した。

④入力された到着便名において、他空港向一括保税運送仮陸揚貨物に対する本業務がすべて終了した。

⑤入力された申告先税関官署と、発送場所を管轄している税関官署が異なる。

⑥AWB情報抽出処理時に不突合、未突合の貨物が存在する。

6. 出力情報

(1) GOL業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
保税運送申告（一括） 呼出し結果情報	なし	入力者

(2) GOL01業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
保税運送申告（一括）呼 出し結果情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 呼出し業務から継続して実施した (2) 便終了済である (3) 到着便単位の保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録を行う対象のAWB情報が18件を超える	入力者
保税運送承認通知情報 (承認用) (システム内)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) システム内向けに保税運送申告された (2) 「簡易審査扱い」に選定された (3) 入力されたAWB番号が他空港向一括保税運送貨物である	入力者
保税運送承認通知情報 (承認用) (システム外)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) システム外向けに保税運送申告された (2) 「簡易審査扱い」に選定された (3) 入力されたAWB番号が他空港向一括保税運送貨物である	入力者
保税運送承認通知情報 (到着確認用)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) システム外向けに保税運送申告された (2) 「簡易審査扱い」に選定された (3) 入力されたAWB番号が他空港向一括保税運送貨物である	入力者

情報名	出力条件	出力先
保税運送承認通知情報 (仮陸揚貨物)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 「簡易審査扱い」に選定された (2) 入力されたAWB番号が仮陸揚貨物である	入力者
保税運送承認貨物情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 「簡易審査扱い」に選定された (2) 出力先となる利用者が本業務を行った利用者でない	発送場所を管理する利用者*1
		運送先を管理する利用者*1
保税運送申告控情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 「書類審査扱い」に選定された (2) 入力されたAWB番号が他空港向一括保税運送貨物である	入力者
保税運送申告控情報(仮陸揚貨物)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 「書類審査扱い」に選定された (2) 入力されたAWB番号が仮陸揚貨物である	入力者
保税運送申告確認情報	「書類審査扱い」になった場合	申告先税関 (保税担当部門)
SFT情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録を行った (2) 入力されたAWB番号が他空港向一括保税運送貨物である	入力者
SFT情報(仮陸揚貨物)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録を行った (2) 入力されたAWB番号が仮陸揚貨物である	入力者
特定保税運送受付情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 特定保税運送の登録を行った (2) 入力されたAWB番号が他空港向一括保税運送貨物である	入力者
特定保税運送受付情報 (仮陸揚貨物)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 特定保税運送の登録を行った (2) 入力されたAWB番号が仮陸揚貨物である	入力者
保税関係確認情報	「簡易審査扱い」に選定された場合	申告先税関 (保税担当部門)
個別運送・特定保税運送 登録通知情報(発送地向 け)		税関 (保税担当部門)
		税関 (監視担当部門)
個別運送・特定保税運送 登録通知情報(到着地向 け)		税関 (保税担当部門)
		税関 (監視担当部門)

(*1) 出力先の保税蔵置場がシステム参加保税地域の場合で、かつ、システムに出力する旨が登録されている場合にのみ出力する。